

事前評価個表

整理番号	3
------	---

地域(地区)名	胆振東部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	白老町ほか4市町
事業実施期間	H28～H32(5年間)	事業実施主体	北海道、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道の中南部にある胆振総合振興局の東部に位置した地域であり、地形は緩やかな丘陵山脈、南は全市町が太平洋に面している。</p> <p>本地区の総面積234千haのうち、森林面積は163千ha(森林率70%)、対象民有林は99千ha(森林全体の61%)、うちカラマツ及びトドマツを主体とした人工林は58千ha(人工林率36%)となっている。また、民有林内の林道延長は294,003mで、公道等を含む林内道路密度は10.6m/haとなっており、このほかに林道の支派線としての作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち12千ha(人工林の35%)がⅧ齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にある。これまでも間伐材の利用に取り組んできたが、さらに間伐遅れ林分の施業を行い、「間伐材等の林地残材」を積極的に利用していくとともに、間伐だけでなく「未立木地及び伐採跡地」の早期解消及び森林の公益的機能の発揮に努める必要がある。</p> <p>このため、胆振東部地域森林環境保全整備事業計画に基づき本事業による森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：24,543ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：8,600m 林業専用道</p> <p>総事業費：6,140,989千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.95 (総便益(B)=43,926,295千円、総費用(C)=8,879,489千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

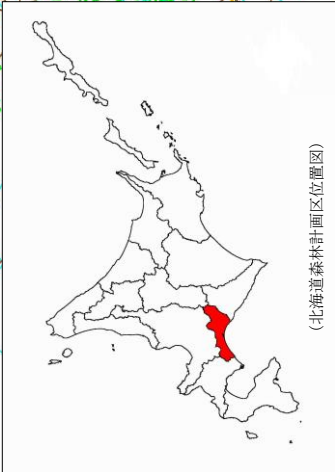
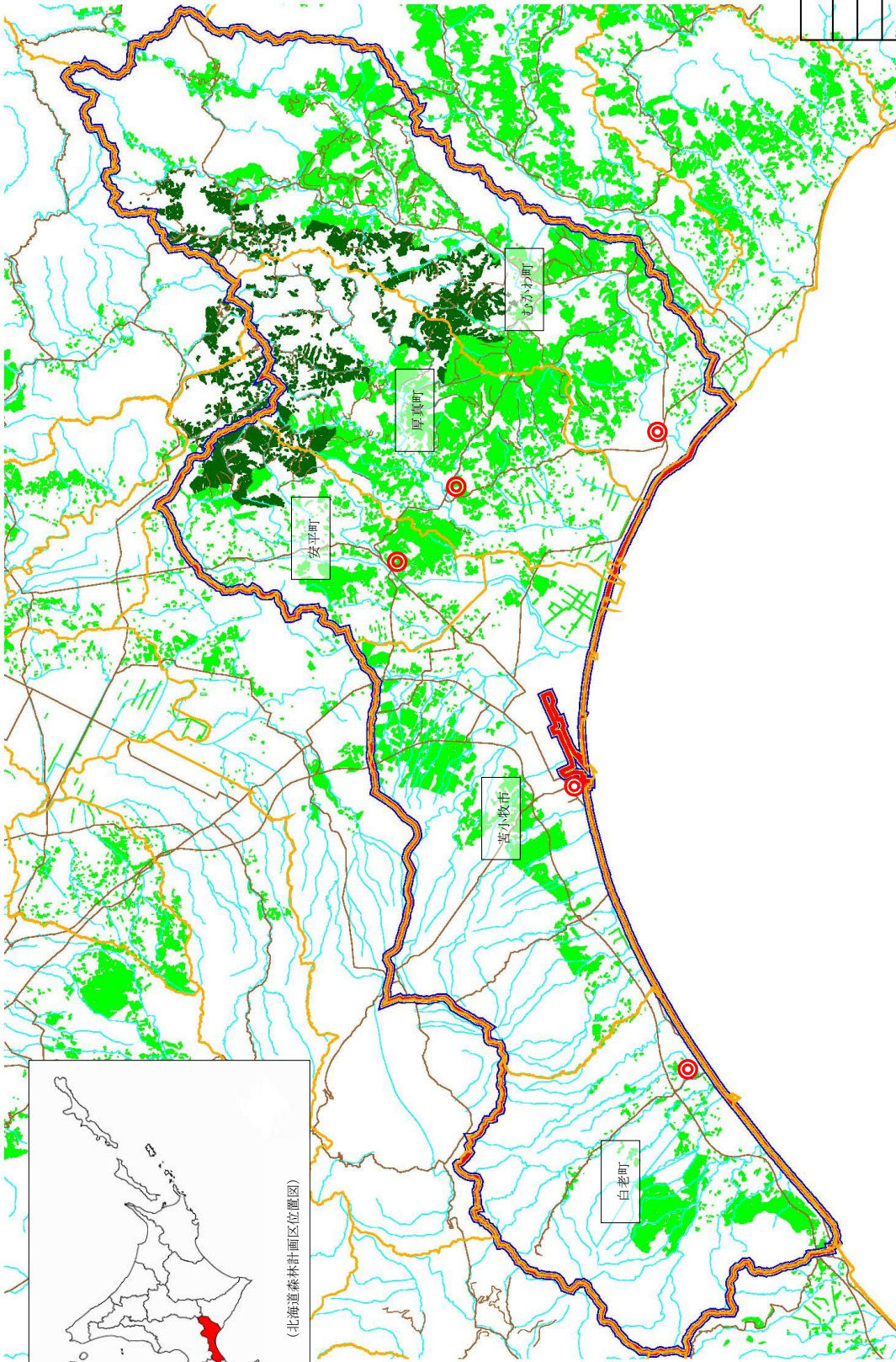
都道府県名:北海道

地域(地区)名:胆振^{いぶり}東部^{とうぶ}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源 ^{かん} 涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	11,044,305	
	流域貯水便益	2,809,485	
	水質浄化便益	6,148,242	
山地保全便益	土砂流出防止便益	15,503,479	
	土砂崩壊防止便益	1,757,960	
環境保全便益	炭素固定便益	3,497,809	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	4,554	
	木材生産確保・増進便益	2,713,873	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	90	
	森林整備促進便益	446,498	
総 便 益 (B)		43,926,295	
総 費 用 (C)		8,879,489	
費用便益比	$B \div C = \frac{43,926,295}{8,879,489} = 4.95$		

森林環境保全整備事業 胆振東部（北海道）



凡 例	
	計画区界
	事業区域
	森林整備
	国道・主要道
	河川
	市町村界
	市町村役場所在地
	一般民有林（人工林）
	道有林（人工林）